

様式第1号(第3条の2関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8年 6月 18日

岩手県知事
達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県一関市花泉町花泉字下北浦29の1

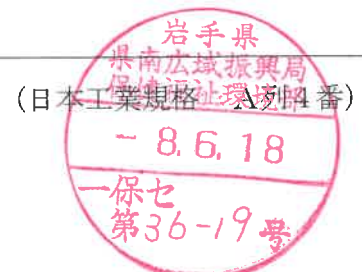
氏 名 株式会社 舞石組

代表取締役 舞石 太

電話番号 0191-82-2323

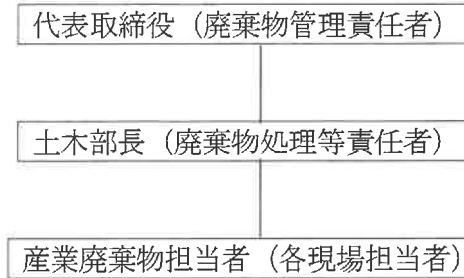
循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 舞石組
事業場の所在地	岩手県一関市花泉町花泉字下北浦29の1
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 371,974,532円(令和7年8月期)
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場より排出 → 自社及び委託業者が処分場へ運搬 → 委託処分



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 処分業者に委託し、適正に処理してもらっている。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も処分業者に委託し、適正に処理してもらう。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くず、廃プラスチック類、がれき類、廃蛍光管ごと委託処分場に自社及び委託運搬している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も現状を維持する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） —		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 木くず、がれき類、廃プラスチック類、廃蛍光灯は再生利用処理業者に委託処理している。		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	木くず、がれき類、廃プラスチック類、廃蛍光管は今後も再生利用処理業者に委託処理する。		
※事務処理欄			

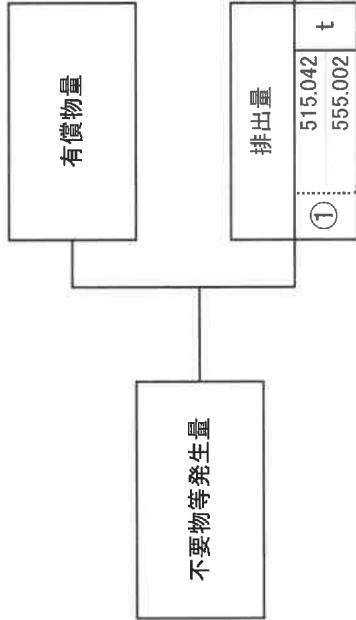
備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3章の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】前年度実績・今年度計画

(産業廃棄物の種類： 全体)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



自ら直接 再生利用する量
②
00
t

自ら直接埋立処分又 は海洋投入する量
③
00
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
00
t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	515.042 555.002 t
②+⑧自ら再生処理を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処 分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	515.042 555.002 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	515.042 555.002 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量	0 0 t

自ら中間処理 する量
④
00
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
00
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
00
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
00
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
00
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
515.042 555.002 t

⑩のうち再生利用 業者への処分委託量
⑫
515.042 555.002 t

⑩のうち熱回収認定 業者への処分委託量
⑬
0 0 t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
0 0 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
0 0 t

【別紙】前年度実績・今年度計画 (産業廃棄物の種類： がれき類)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①
397.400
450.000
t

②
0
0
t

③
0
0
t

④
0
0
t

⑤
0
0
t

⑥
0
0
t

⑦
0
0
t

⑧
0
0
t

⑨
0
0
t

⑩
397.400
450.000
t

⑪
0
0
t

⑫
397.400
450.000
t

⑬
0
0
t

⑭
0
0
t

①排出量

②+⑧自ら再生処理を行った量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

⑩全処理委託量

⑪優良認定処理業者への処理委託量

⑫再生利用業者への処理委託量

⑬熱回収認定業者への処理委託量

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

前年度実績値
今年度目標値

397.400
450.000
t

0.00
0.00
t

0.00
0.00
t

0.00
0.00
t

0.00
0.00
t

397.400
450.000
t

0.00
0.00
t

397.400
450.000
t

0.00
0.00
t

0.00
0.00
t

自ら中間処理した後の残さ

自ら中間処理する量

④のうち熱回収を行う量

自ら中間処理により減量した量

自ら中間処理した後の再生利用する量

自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち再生利用業者への処分委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処分委託量

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

【別紙】前年度実績・今年度計画		(産業廃棄物の種類： がれき類)	
項目	不要物等発生量	有償物量	排出量
	①排出量	② 0 0 t	③ 0 0 t
	②+⑧自ら再生処理を行った量	④ 0 0 t	⑤ 0 0 t
	⑤自ら熱回収を行った量	⑥ 0 0 t	⑦ 0 0 t
	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧ 0 0 t	⑨ 0 0 t
	③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩ 397.400 450.000 t	⑪ 0 0 t
	⑩全処理委託量	⑫ 397.400 450.000 t	⑬ 0 0 t
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑭ 0 0 t	⑮ 0 0 t
	⑫再生利用業者への処理委託量	⑯ 0 0 t	⑰ 0 0 t
	⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑱ 0 0 t	⑲ 0 0 t
	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑳ 0 0 t	㉑ 0 0 t
		㉒ 0 0 t	㉓ 0 0 t
		㉔ 0 0 t	㉕ 0 0 t
		㉖ 0 0 t	㉗ 0 0 t

【別紙】前年度実績・今年度計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

115.070
100.000
t

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

①排出量

②+⑧自ら再生処理を行った量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

⑩全処理委託量

⑪優良認定処理業者への処理委託量

⑫再生利用業者への処理委託量

⑬熱回収認定業者への処理委託量

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

自ら直接再生利用する量

自ら直接埋立処分又は海洋投入する量

自ら中間処理する量

④のうち熱回収を行う量

自ら中間処理した後の残さ

自ら中間処理により減量した量

自ら中間処理した後再生利用する量

自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑩のうち再生利用業者への処分委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処分委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

前年度実績値
今年度目標値

115.070
100.000
t

0
0
t

0
0
t

0
0
t

0
0
t

115.070
100.000
t

0
0
t

115.070
100.000
t

0
0
t

0
0
t

【別紙】前年度実績・今年度計画

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

不要物等発生量	有償物量	
	排出量	
	①	2.570 5.000 t
①排出量	前年度実績値 今年度目標値	2.570 5.000 t
②+⑧自ら再生処理を行った量		0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量		0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量		0 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0 0 t
⑩全処理委託量		2.570 5.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量		2.570 5.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 0 t

自ら直接 再生利用する量	②	0 0 t
-----------------	---	----------

自ら直接埋立処分又は海洋投入する量	③	0 0 t
-------------------	---	----------

自ら中間処理した後 再生利用する量	⑧	0 0 t
----------------------	---	----------

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海洋投入する量	⑨	0 0 t
------------------------------	---	----------

自ら中間処理した 後の残さ	⑥	0 0 t
------------------	---	----------

自ら中間処理 する量	④	0 0 t
---------------	---	----------

自ら中間処理により 減量した量	⑦	0 0 t
--------------------	---	----------

④のうち熱回収 を行う量	⑤	0 0 t
-----------------	---	----------

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	⑩	2.570 5.000 t
-----------------------------	---	------------------

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪	0 0 t
-----------------------------	---	----------

⑩のうち再生利用 業者への処分委託量	⑫	2.570 5.000 t
-----------------------	---	------------------

⑩のうち熱回収認定 業者への処分委託量	⑬	0 0 t
------------------------	---	----------

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0 0 t
---	---	----------

【別紙】前年度実績・今年度計画

(産業廃棄物の種類: 廃蛍光管)

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

有償物量		排出量	
不要物等発生量	①	0.002	t
		0.002	
項目		前年度実績値 今年度目標値	
①排出量		0.002	t
		0.002	
②+⑧自ら再生処理を行った量		0	t
		0	
⑤自ら熱回収を行った量		0	t
		0	
⑦自ら中間処理により減量した量		0	t
		0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0	t
		0	
⑩全処理委託量		0.002	t
		0.002	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0	t
		0	
⑫再生利用業者への処理委託量		0.002	t
		0.002	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0	t
		0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	t
		0	

自ら直接再生利用する量	②	0	t
		0	

自ら直接埋立処分又は海洋投入する量	③	0	t
		0	

自ら中間処理する量	④	0	t
		0	

④のうち熱回収を行う量	⑤	0	t
		0	

自ら中間処理した後の残さ	⑥	0	t
		0	

自ら中間処理により減量した量	⑦	0	t
		0	

自ら中間処理した後に再生利用する量	⑧	0	t
		0	

自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	⑨	0	t
		0	

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	⑩	0.002	t
		0.002	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0	t
		0	

⑩のうち再生利用業者への処分委託量	⑫	0.002	t
		0.002	

⑩のうち熱回収認定業者への処分委託量	⑬	0	t
		0	

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0	t
		0	